大規模宅地開発が進み 市道阿倉川西富田線が開通した
西阿倉川・東阿倉川

山手中学校
昭和２２年４月１５日に市立北中学校として開設、同年５月５日に海蔵小学校と羽津小学校の一部を借用して開校しました。昭和２３年２月２０に現校名に改称、同２４年に現在地に新校舎三棟が落成しました。
その後、昭和５０年４月に大谷台小学校が開校して同校の卒業生が入学するようになりました。
そして、昭和５４年４月１日に羽津中学校が開校して羽津地区の生徒は同校へ移りました。

海蔵保育園
昭和４２年９月１日に西阿倉川の御厨飽良河神社東側に隣接して開設されました。平成１６年５月に現在地の新園舎へ移転しました。

阿倉川新町
昭和四日市石油グラウンド跡地（面積２５，５００㎡余）に、平成１２年１２月から翌年１月にかけて９１区画の宅地が造成されました。平成１２年１２月に大字東阿倉川から分離して阿倉川新町となり、平成１４年４月1日に自治会が発足しました。

平成１３年１月撮影

平成２８年１月撮影

ウェリスパーク阿倉川
松ヶ丘地内のＮＴＴ社宅跡地（面積２４，１００㎡余）に、平成２０年８月から翌年５月にかけて８０区画の宅地が造成されました。新しく整備された公園には、炊飯台対応ベンチや災害時トイレ用マンホールが設置されています。なお、当地には昭和３年から同１２年まで我が国最初の欧米諸国と国際通信を行う日本無線電信株式会社海蔵受信所がありました。（詳細は海蔵地区ホームページでご覧ください。）

都市計画道路　市道阿倉川西富田線：西阿倉川地内の通称「バス通り」との交差点以南は平成１２年に着工、同交差点以北山手中学校までは同１７年９月に着工しました。平成１８年５月からの暫定開通を経て、同１９年９月に完成しました。

整備された野田の三滝川・堤防道路

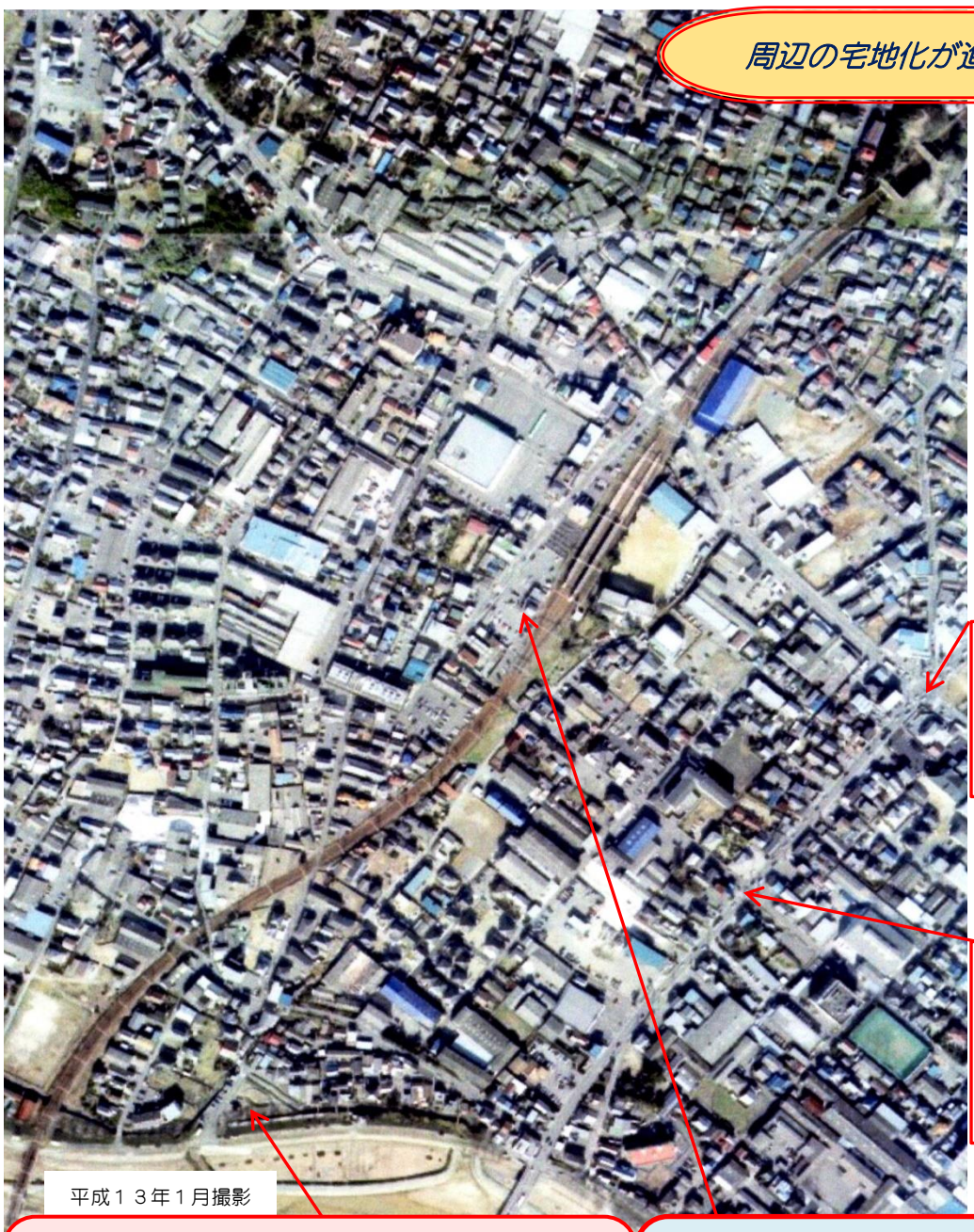
野田二丁目の南側を流れる三滝川の左岸堤防等の整備は、「三滝川ふるさとの川整備事業（ＪＲ鉄道橋～生桑橋の間）」により、平成８年度の低水護岸整備から始まり、同１７年度の高水敷（遊歩道）整備で終了しました。それに合せて左岸堤防道路の野田橋から久保田橋の間も整備されて平成１３年６月に完了しました。

平成１３年１月撮影

平成２８年１月撮影

周辺の宅地化が進む近鉄阿倉川駅周辺

国道１号
平成１４年度～１８年度の間に、金場町交差点から海蔵橋方向へ、歩道設置工事及び電線共同溝地中化の一部整備が行われました。



平成１３年１月撮影

平成２８年１月撮影

堀川菖蒲園
環境省の補助事業である『身近な水辺環境再生事業』として市が整備し、市制１００周年事業の一環として平成９年６月８日にオープン行事が行われました。
現在、海蔵地区社会福祉協議会花部が管理しています。

阿倉川駅：阿倉川駅は嘗て、付近に万古焼の事業所が沢山あり、大勢の通勤者の乗降がありました。次第に、事業所が廃止され、その跡地は住宅地となって行きました。しかし、現在でも１日平均２，０００人以上の乗車人員があることから、平成２９・３０年度で、エレベーターの設置など、だれでも利用しやすい施設のバリアフリー化が行われます。駅前には市制１００周年を祝う海蔵地区の事業として設置した、萬古焼モニュメントがあります。